02 言語能力向上の構想

学校教育目標

創造
- よく学び考える
- 豊かな発想をもつ
- 自分らしさを発揮する

実行
- すすんで行動する
- 励まし合い高め合う
- 人のために役立つ

笑顔
- 明るくたくましい心と健康な身体をもつ
- ともに伸びる喜びを知る

言語能力向上推進計画

新学習指導要領改訂の趣旨

【思考力・判断力・表現力の育成】
- 基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動の重視

【言語能力の育成】
- 言語環境の整備
- 言語活動の重視

目指す児童像

低学年	学び合いの楽しさを知り、進んで表現しようとする児童
中学年	自分の考えをもち、進んで学び合おうとする児童
高学年	自分の考えを整理し、学び合うことを通して再考する児童

研究主題

自分の思いを正しく伝えられる児童の育成

思考力・判断力・表現力を高める「つ北授業モデル」

潜在への働きかけ
- 発問の質
- 教材の工夫
- 課題との出会い

言語能力として必要な思考
- ロジカルな思考
- クリエイティブな思考

潜在を豊かにする取組
- 体験活動の重視
- 多様な言語活動
- 潜在へのフィードバック

読書活動
- 読み聞かせ
- アニマシオン
- 朝読書等の読書タイム

書く活動
- ことばらんど
- 学習予定表の活用（日々の振り返り）

特別活動
- 縦割り班活動
- プロジェクトアドベンチャー
- 一人一人が生きる学校行事

言語環境の整備・言語活動の充実